

# キャンパスライフ サークル紹介

## 体育系

### 舞台上に懸ける思い

#### ダンス部

新野 陽菜

(教育学部身体文化専修四年)

埼玉大学ダンス部は、現在四年生四名、三年生一名、二年生二名、一年生三名の、計十名で活動しています。

年間を通じて、多くのコンクールに挑戦したり、一年間の集大成の場でもある自主公演を企画・運営したり、その他イベントに出演したりと、精力的に舞台活動を行っています。

中でも、八月に神戸文化ホールで開催される全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)には必死の思いで取り組んでおり、過去十年間では、第一位に当たる文部科学大臣賞を二回、NHK賞を四回、特別賞を三回受賞しています。

これらの受賞の背景には、熱心にご指導をしてくださる先生やコーチ、現地に駆けつけてくださる卒業された先輩方のご尽力と、多くの方々からのご支援があります。今年度は、作品「思考なき人々に告ぐーH・アーレント『全体主義の起源』より」で出場して、感性に溢れた優れた動きのテクニクに対して贈られる特別賞を受賞し、テレビでも放映されました。



©フォトスタジオハナ

思考なき人々に告ぐーH・アーレント『全体主義の起源』より

この作品では、全体主義の中で人々が自分の考えや意思をもつことを抑圧される怖さ、そしてそこに立ち向かうには勇氣ある一人が覚悟をもって立ち上がり主張することの必要性を訴えたい、という思いをもって表現しています。

このように、現代を生きる私たちがダンスを通じて思いや考えを伝えられることが創作ダンスの魅力であり、ダンス部の活動の根幹になっていきます。

また、仲間と共に創作活動に取り組む過程で、一人一人が自己を見つめ、互いに刺激し合うことで、更なる高みを目指しています。

更に活動を盛り上げていけるよう精進してまいりますので、今後とも、埼玉大学ダンス部へのご支援・ご声援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

### 自分を越える

#### 陸上競技部

鈴木 陽介

(教育学部身体文化専修四年)

私たち埼玉大学陸上競技部は、週五日、埼玉大学の陸上競技場や浦和の駒場運動公園などで活動しています。令和四年度の部員数は、学部生と院生を合わせて六十七名です。学部や出身、実力など様々な学生が日々切磋琢磨し、練習に励んでいます。

埼玉大学陸上競技部の特徴は、四年生が主体となり、練習内容や活動方針を決めていくことです。主に短距離と長距離に分かれて活動していますが、それぞれが今の自分たちには何が必要なのか、強くなるためにはどうしたらよいかを考え練習に取り組みました。短距離では、各自の自己新記録更新や関東学生陸上競技対校選手権(以下、関カレ)の出場、日本学生陸上競技対校選手権(以下、全カレ)への出場を目標に活動をしていました。さらに長距離では、東京箱根間往復大学駅伝競走予選会(以下、予選会)への出場を掲げて活動を行ってきました。

本年度は、関カレに個人十二種目、リレー四種目に出場しました。男子四×四〇〇メートルリレーでは、十五年ぶりに大学記録を更新し、全カレの出場権を獲得しました。さらに女子砲丸投げでは、三連覇を果たすなど輝かしい成績を残しました。予選会では、奮闘の結果、記録は残せなかったもののチーム一丸となって闘うことができました。悔しい結果となりましたが、この経験を活かして更なる高みを目指していきたいと思えます。来年以降も、活動ができる環境があること、仲間がいることに感謝し、自己記録更新に向けて練習に励んでいきたいと思えます。



関東甲信越大学対校大会の集合写真

# キャンパスライフ サークル紹介

## 文化系

### 音楽を届けたい

#### 吹奏楽部

浅野 璃子

(教育学部教育学専修二年)

こんにちは！埼玉大学吹奏楽部、通称SUWO(すをー)です！私たちは「忘れられない音楽」を motto に、一年生から大学院生まで総勢六十名で、月・水・金の週三回、学内の課外活動共用施設を拠点に楽しく活動しています。七月のサマーコンサート、十二月の定期演奏会のほか、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテスト、シヨッピングモールからの依頼演奏など、様々な行事に積極的に取り組んでいます。

顧問の竹澤栄祐先生や音楽監督の先生、各パートトレーナーの先生方のお力をお借りしつつ、学生が主体となって部活の運営や演奏会の開催に取り組む、やりがいや楽しさを感じています。大変な時もありますが、SUWOの良さである先輩・後輩・同輩の繋がりの深さを生かして活動しています。そんなSUWOもコロナ禍では様々なことに制限がかかってしまいました。が、小規模での練習や学



第47回サマーコンサート

外の広い部屋での練習を取り入れるなどして感染対策を徹底し、昨年度からはサマーコンサートや定期演奏会を開催できるようにになりました。多くの方から「良かった」の声を頂いたり、アンサンブルコンテストでは、サククス四重奏が二十年ぶりに全国大会に出場したりとコロナ禍でも前向きに活動に取り組むことができました。今年、シヨッピングモールなどからの依頼演奏も多く、お客様に聴いてもらえることの喜び、様々な場で演奏できることの楽しさが感じられた一年でした。また、

皆で一つの作品を  
ミュージカル桃犬  
古池 志世  
(教育学部芸術専修音楽分野三年)

こんにちは。ミュージカルサークル桃犬です。私たちのサークルでは、年に三回の公演に向けてそれぞれが日々目標を持って練習に励んでいます。ダンスや歌の得意、不得意に関わらず、皆で協力し合い一つの作品を作っています。



7月公演 Dream of A Mermaid

桃犬では、舞台上で使用するものも多くを自分たちで作成しています。例えば大道具であれば、どのようなサイズ、色にするかなどの作業案を自分たちで考え、作業に取り掛かります。他にも衣装やメイク、広報など舞台で必要なものは部門という形でそれぞれが責任を持って動いています。下の写真は今年七月に行った公演の写真です。新型コロナウイルスの

流行を乗り越え、皆の努力と工夫が詰まった自信を持ってご紹介できる作品の一つです。前述のとおり、私たちのサークルでは多くの事を自分たちで担い公演本番に臨みます。多くの挫折や失敗を経験することもあります。が、その度に皆で話し合い、試行錯誤を重ねつつ、一つ一つを乗り越えていきます。公演本番が終了した後の達成感は計り知れないものがあり、私自身経験した多くの公演が今でも胸に焼き付いています。このような経験ができることが私たちのサークルの最大の魅力だと感じています。さて、これからもミュージカルサークル桃犬として、日頃からご声援を頂いている皆様への感謝を忘れないと共に、皆様により良い作品をお届けできますよう日々の練習に励んで参ります。今回の紹介文を通して私たちのサークル、そしてミュージカルに興味を持って頂けたら幸いです。